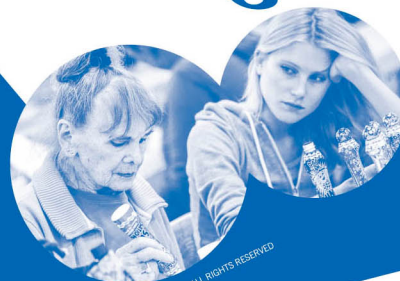


川崎市アートセンター



新百合ヶ丘の映画館。

ミニシアター

アスファルト・シティ
アメリカッチ
コウノトリと幸せな食卓
私たちが光と想うすべて
何も知らない夜
かたつむりのメモワール
冬冬(トントン)の夏休み
デジタルリマスター版
たべっ子どうぶつ THE MOVIE
炎はつなぐ
ストレンジ・ダーリン

【市川雷蔵映画祭 刹那のきらめき】
炎上
斬る 他全10作品
【ショーン・ベーカー初期傑作選】
スターレット 他全4作品
【ナショナル・シアター・ライブ】
ワーニャ
フリーバック

【映画タイムマシンvol.13】
生れてはみたけれど
モダン・タイムス
こま撮りえいが こまねこ

【岡本喜八 8/15 特別上映】
血と砂

【小劇場シネマ】
陸軍登戸研究所〈完全版〉



アートセンターに
集まれ～!

●全席指定席 ●ご鑑賞の3日前より購入可能(窓口9時～/オンライン10時30分～) ※8/12(火)は窓口販売はありません ●111席+車いす席2席					
8/2土	10:00	生れてはみたけれど [1h32] ♪2(土)ピアノ演奏付き ★3(日)活弁&ピアノ演奏付き	12:30 ◆4(月)休映	15:00 ◆4(月)休映	17:05 ◆4(月)休映
3回					19:40 ◆3(日)・4(月)休映
休映	4回	◆4(月)休映			
5火	10:00	モダン・タイムス [1h29]	私たちが 光と想うすべて [1h58]	かたつむりの メモワール [1h34]	アメリカッチ コウノトリと幸せな食卓 [2h01]
6水					アスファルト・シティ [2h05]
7木	10:00	こま撮りえいが こまねこ [1h]	◆2(土)、3(日)、6(水) 副音声ガイド付き上映[要予約] ※2(土)、3(日)、6(水)は予告篇なし		
8金					
8/9土	10:00		12:30 新源氏物語 [1h43]	14:45 眠狂四郎勝負 [1h23]	16:40 ワーニャ [1h57]
10回	◆12(火)休館		12:30 炎上 [1h39]	14:45 眠狂四郎無頼剣 [1h19]	16:40 フリーバック [1h28]
祝日		私たちが 光と想うすべて [1h58]	12:30 破戒 [1h58]	15:00 斬る [1h11]	16:40 ワーニャ [1h57]
休館	12回		【小劇場シネマ】8/11(月・祝)13:00 陸軍登戸研究所〈完全版〉[4h] ※途中休憩あり 舞台挨拶 楠山忠之監督、石原たまさん		
			◆12(火) 休館		
13水	◆13(水)保育付き上映 [要予約]		12:30 新・平家物語 [1h47]	14:50 お嬢吉三 [1h21]	16:40 フリーバック [1h28]
14木			12:30 華岡青洲の妻 [1h39]	14:40 ひとり狼 [1h24]	16:40 ワーニャ [1h57]
15金			12:30 血と砂 [2h12] 上映後トーク		16:40 フリーバック [1h28]
8/16土	10:00		12:00 華岡青洲の妻 [1h39]	14:30 ◆18(月)休映	16:40 ◆18(月)休映
17回	◆18(月)休映		12:00 炎上 [1h39]	冬冬(トントン)の夏休み デジタルリマスター版 [1h38]	18:55 ◆18(月)休映
休映	18回	たべっ子どうぶつ THE MOVIE [1h31]	◆18(月)休映	何も知らない夜 [1h43]	私たちが 光と想うすべて [1h58]
19火			12:00 新源氏物語 [1h43]		
20水			12:00 破戒 [1h58]		
21木			12:00 炎上 [1h39]		
22金			12:00 新・平家物語 [1h47]		
8/23土	10:00		12:00	14:35	16:45 スターレット [1h43]
24回	◆25(月)休映		◆25(月)休映	◆25(月)休映	19:00 フォー・レター・ワーズ [1h22]
休映	25回	たべっ子どうぶつ THE MOVIE [1h31]	炎はつなぐ [2h02]	ストレンジ・ダーリン [1h37]	16:45 プリンス・オブ・ ブロードウェイ [1h40]
26火					18:55 テイクアウト [1h27]
27水					◆25(月)休映
28木					16:45 フォー・レター・ワーズ [1h22]
29金					18:40 プリンス・オブ・ ブロードウェイ [1h40]
					16:45 テイクアウト [1h27]
					18:45 スターレット [1h43]
					16:45 スターレット [1h43]
					19:00 プリンス・オブ・ ブロードウェイ [1h40]
					16:45 テイクアウト [1h27]
					18:45 フォー・レター・ワーズ [1h22]

『生れてはみたけれど』 ♪8/2(土)柳下美恵さん(ピアノ)
ピアノ演奏&弁士付き ★8/3(日)大森くみこさん(活弁)&柳下美恵さん(ピアノ)

『血と砂』8/15(金) ゲスト:深田晃司さん(映画監督)、村山章さん(映画ライター)
上映後トーク 聞き手:前田伸一郎さん(喜ハプロ)

チケット料金	一般	大学・専門 学校生	会員 シニア	障がい者 付添 (1名まで)	高校生 以下
通常料金	2000円		1300円	1000円	800円
「市川雷蔵映画祭」	1700円	1000円	1300円	1000円	800円
『生れてはみたけれど』	1500円		1500円		
『モダン・タイムス』『こま撮りえいが こまねこ』 1000円 ※会員ポイント対象外					
『ワーニャ』『フリーバック』	3000円	2500円	会員2500円 シニア3000円	2500円	2500円
※各種割引対象外/招待券使用不可					

●全席指定席 ●チケットはご鑑賞の3日前より購入可能
窓口9時～/オンライン10時30分～上映30分前まで オンライン購入サイト▶



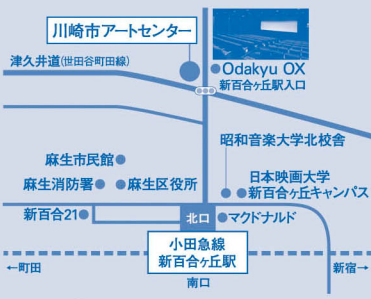
『炎はつなぐ』8/26(火) 舞台挨拶 ゲスト:大西暢夫監督、今井友樹さん(撮影)

- ◆各種割引(お一人様1300円)
 - 水曜サービスデー
 - 60歳以上はシニア料金
 - パートナー50割(2人で2600円)

- ◆シネマ会員募集中!
 - 入会金500円
 - 年会費1500円(1年更新制)
 - ★ポイント5つで1回ご招待
 - ★同伴者割引あり(1名様まで)
 - ※ご入金手続きは受付にて

- ◆ユースパス 3歳～18歳(高校生)まで
 - 100円でバスを発行(1年間有効)
 - 500円で映画がみられる!

- ◆団体鑑賞受付ます!



川崎市アートセンター
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
E-mail: info@kawasaki-ac.jp
公式サイト: https://kawasaki-ac.jp
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
※当館に駐車場はありません

私たちが光と想うすべて

2024年 | 仏、印、蘭、ルクセンブルク | カラー | ビスタ | 1h58 | DCP | PG12



7/26(国) ▶ 8/22(金)

♣ バリアフリー上映
♣ 保育付き上映

監督・脚本：パヤル・カパーリヤー
出演：カニ・クスルティ、ディヴィヤ・ブラバ、チャヤ・カダム

雨季のムンバイを舞台に描く

インド映画初のカンヌ映画祭グランプリ作品

ムンバイの病院で働くふたりの看護師、ブラバとアナはルームメイトでもある。年上のブラバは夫が外国に出稼ぎに行ったまま帰らず、アナは密かにイスラム教徒と付き合っている。働くふたりの女性の哀感を瑞々しく描き、世界各地で共感と感嘆を誘った清新な傑作。

何も知らない夜

2021年 | フランス、インド | パートカラー | スタンダード | 1h43 | DCP



8/16(国) ▶ 8/22(金)

監督・脚本：パヤル・カパーリヤー

『私たちが光と想うすべて』の監督の
詩情豊かな闘争のドキュメンタリー

パヤル・カパーリヤー監督の長篇ドキュメンタリー。カンヌ映画祭でドキュメンタリー賞、山形ドキュメンタリー映画祭で大賞を受賞した。映画大学構内で発見された手記に基づく設定で、ヒンドゥー至上主義政権に対する2016年の抗議活動を様々な映像を駆使して描く。

冬冬(トントン)の夏休み デジタルリマスター版

1984年 | 台湾 | カラー | ビスタ | 1h38 | DCP



8/16(国) ▶ 8/22(金)

監督・脚本：ホウ・シャオシェン(侯孝賢) / 共同脚本：チュウ・ティエンウェン
出演：ワン・チークアン、リー・シュェン、エドワード・ヤン、グー・ジュン

子ども時代の記憶を呼び覚ます

ホウ・シャオシェン監督の名作が蘇る

台北に暮らすトントンとティンティンの兄妹は、母が入院したため、夏休みを祖父母のいる田舎で過ごすことになる。美しい田園風景のなかで、ふたりはさまざまな体験をし、忘れられない夏の日々を送っていく。台湾ニューシネマを世界に知らしめた侯孝賢監督の名作。

ナショナル・シアター・ライブ

～ロンドン発の演劇中継
“ひとり芝居”の傑作2本!～

ワーニャ

特別料金

2024年 | カラー | ビスタ | 1h57 (休憩なし)



8/9(国)

8/11(国) 祝

8/14(国)

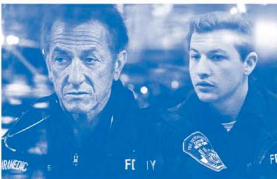
Marc Briner

演出：サム・イェーツ / 脚色：サイモン・スティーヴンス
出演：アンドリュー・スコット

チェーホフの代表作「ワーニャ」を、アンドリュー・スコットのひとり芝居に脚色した話題作。果たして何人の登場人物を演じ分けるのか。破天荒な話題作。

アスファルト・シティ

2023年 | 英、米 | カラー | シネスコ | 2h05 | DCP | R15+



7/26(国) ▶ 8/8(金)

監督：ジャン＝ステファヌ・ソヴェール / 脚本：ライアン・キング、ベン・マック・ブラウン / 原作：シャノン・パーク / 出演：ショーン・ペン、タイ・シェリダン、キャサリン・ウォーターストーン、マイク・タイソン

その現場には暴力と貧困が待ち受ける

ニューヨークの救急救命士たちの活躍

NY市消防局の救急救命隊で働き始めたクロスは、大学の医学部入学を目指している。危険地帯とされるハーレムに配属された彼は、腕利きのベテラン隊員ラットとコンビを組む。犯罪多発地帯に立ち入り暴力と貧困の問題に直面する日々をリアルに綴った社会派映画。

かたつむりのメモワール

2024年 | オーストラリア | カラー | ビスタ | 1h34 | DCP



8/2(国) ▶ 8/15(金)

監督・脚本：アダム・エリオット
声の出演：サラ・スマーク、ジャッキー・ウィーバー、コディ・スミット＝マクフィー

ブラックでビターだけど泣ける

波乱万丈の人生ドラマのアニメーション

両親を亡くし、別な家庭に里子に出された姉弟は、手紙で励まし合い「いつか必ずまた会おう」と約束する。姉のグレースは寂しさのあまり、かたつむりを心の友にして生きていく。粘土細工のストップモーションアニメで、アヌシー映画祭最高賞など高い評価を得た秀作。

たべっ子どうぶつ THE MOVIE

2025年 | 日本 | カラー | ビスタ | 1h30 | DCP



8/16(国) ▶ 8/29(金)

監督：竹清仁
脚本：池田テツヒロ
原作：ギンビス
声の出演：松田元太、水上恒司、高石あかり、藤森慎吾、蒼井翔太

国民的おかし「たべっ子どうぶつ」が

モフモフになってまさかの映画化！

おかしと人間が仲良く暮らすスイーツランドでは、スーパーアイドル「たべっ子どうぶつ」が大人気。しかし、すべてのおかしを排除し世界征服をねらう“わたあめ軍団”によって、ベガさすちゃんが捕らわれてしまった。史上最弱モフモフどうぶつたちの戦いが始まる!

アメリカッチ コウノトリと幸せな食卓

2022年 | アルメニア、米 | カラー | シネスコ | 2h01 | DCP



7/26(国) ▶ 8/8(金)

監督・脚本：マイケル・グールジャン
出演：マイケル・グールジャン、ホヴィク・ケウチケリアン、ネリ・ウヴァロフ、ミハイル・トルピン

アメリカから祖国に帰還した男が

獄中から見つめたアルメニア現代史

オスマン帝国のジェノサイドで各国に散ったアルメニア人たち。ソ連の一員となったアルメニアは、1948年、祖国帰還を呼びかける。アメリカに渡ったチャーリーは喜び勇んで帰国するが、すぐに逮捕され…。社会主義体制が生んだ圧政を、独房から見つめた男の歳月。

炎はつなぐ

2025年 | 日本 | カラー | ビスタ | 2h02 | DCP



8/23(国) ▶ 8/29(金)

★8/26(火)舞台挨拶
ゲスト：大西暢夫監督
今井友樹さん(撮影)

監督・ナレーション：大西暢夫
撮影：大西暢夫、今井友樹

和ろうそくから始まる

全国の伝統工芸職人と農民たちの列伝

15年をかけて取材した、養蚕農家、ミツマタ農家と和紙職人、和紙が欠かせない金箔職人、藍染職人とその原料を作るすくも職人、ろうの原料のハゼの麦のちぎりさんとうろそく職人、灯芯の煤から墨を作る職人…。炎がつないだ、日本の伝統を守り継ぐ人々の記録。

ストレンジ・ダーリン

2023年 | アメリカ | カラー | シネスコ | 1h37 | DCP | PG12



8/23(国) ▶ 9/5(金)

監督・脚本：J.T.モルナー
出演：ウィラ・フィッツジェラルド、カイル・ガルナー、バーバラ・ハーシー

スティーヴン・キング絶賛

6つの章で構成された新感覚スリラー

酒場で知り合った男女が一夜を過ごしたことから始まる連続殺人事件を、6つの章立てで構成し、観客に仕掛けられたネタバレ厳禁のワナを味わう新感覚スリラー。「巧妙な傑作」というスティーヴン・キングのコメントの通り、予想を裏切られていく快感に酔う。

岡本喜八 8/15 特別上映

〈映画監督・岡本喜八生誕100周年記念〉

血と砂

1965年 | 東宝、三船プロ | 白黒 | シネスコ
2h12 | 35mm

8/15(金) ★上映後トーク

昭和20年8月、北支戦線。三船敏郎演じる曹長は「聖者の行進」が得意な少年軍楽隊13人とともに、ヤキバ岩奪還に向かう。苛烈な戦場に、音楽好きの少年たちを置き戦争の実相を描く傑作。

★トークゲスト：深田晃司さん(映画監督)、村山章さん(映画ライター)

聞き手：前田伸一郎さん(喜ハプロ)



© 1965東宝

脚本：佐治乾、岡本喜八
出演：三船敏郎、伊藤雄之助、佐藤充、天本英世、団玲子、仲代達矢

♣ バリアフリー上映情報

● 保育付き上映 [要予約]

映画鑑賞中に保育ボランティアスタッフが
お子さんをお預かりします。

『私たちが光と想うすべて』

8/13(水) 10:00の回

対象：2～5歳 | 諸費用200円 | 定員：各回5名

【予約締切】各3日前 ※チケットは別途お求めください。

● 副音声イヤホンガイド付き上映 [要予約]

視覚障がい者向けの音声ガイドをFMラジオで
お聞きいただけます。

『私たちが光と想うすべて』

8/2(土)、3(日)、6(水) 12:30の回

FMラジオオンライン・送迎希望の方はご予約ください。

メール：artcenter@kac-cinema.jp

TEL：044-955-0107



メール予約はこちら▲

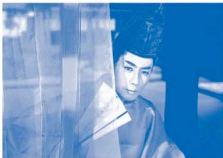
市川雷蔵映画祭 刹那のきらめき

8/9(国) ▶ 8/22(金)

不世出の名優・市川雷蔵

(1931～1969)の映画デ

ビュー70周年記念



【新派系映画】© KAKOJIMA 1961

新・平家物語

1955年 | 大映 | カラー | スタンダード | 1h47 | DCP

監督：溝口健二

共演：久我美子、小暮実千代、大矢次郎、進藤英太郎、林成年

大映入社1年目に、巨匠溝口健二に抜擢され、青年期の平清盛を熱演した出世作。大映京都撮影所ならではの大作で、開幕のモーションの長廻しは今も語り草。

炎上

4Kデジタル
修復版

1958年 | 大映 | 白黒 | シネスコ | 1h39 | DCP

監督：市川崑 / 共演：中村鴈治郎、仲代達矢、新珠三千代、浦路洋子、中村玉緒

初めての現代劇は、国宝の寺に放火した吃音の青年という難役。三島由紀夫「金閣寺」の映画化で、市川崑の代表作となった名作。雷蔵は数々の演技賞に輝く。

破戒

1962年 | 大映 | 白黒 | シネスコ | 1h58 | DCP

監督：市川崑 / 共演：長門裕之、船越英二、藤村志保、三國連太郎、中村鴈治郎

島崎藤村の小説を市川崑が映画化した名作。被差別部落出身の出自を明かしてはならないという父の教えに背くことになる、教師丑松の苦悩を見事に演じ切る。

眠狂四郎無頼剣

1966年 | 大映 | カラー | シネスコ | 1h19 | DCP

監督：三隅研次 / 共演：天知茂、藤村志保、工藤堅太郎、島田竜三、永田靖

大塩平八郎の乱の復讐を企て、江戸を火の海にしようと企む謎の侍・愛染に対峙する狂四郎の活躍。抒情を排したテンポの良さと、豊かな色彩に魅了される作品。

映画タイムマシン vol.13

8/2(国) ▶ 8/8(金)

サイレント
プログラム 『生れてはみたけれど』♪8/2(土)柳下美恵さんのピアノ演奏付き
★8/3(日)大森くみさんの弁士&柳下美恵さんのピアノ演奏付き

生れてはみたけれど

1930年 | 松竹 | 白黒 | スタンダード | 無声 | 1h30 | 35mm



© 1932松竹映画株式会社

監督：小津安二郎

出演：斎藤達雄、吉川満子、菅原秀雄、安賀小僧
東京郊外の新興住宅地を舞台に描くホームドラマ。小津安二郎の不朽の名作で、無声映画の頂点のひとつとして、世界的な評価を得ている。

モダン・タイムス

1936年 | アメリカ | 白黒 | スタンダード | サウンド版 | 1h27 | DCP



© Roy Export S.A.S.

監督・脚本・編集・作曲：チャールズ・チャップリン

出演：チャールズ・チャップリン、ポーレット・ゴダード
工場労働者のチャリーは、ベルトコンベアから流れる部品のねじ締めに追われる。非人間的な労働さえ笑いに昇華する映画史上の名作。

こま撮りえいが こまねこ

2006年 | 日本 | カラー | ビスタ | 1h | DCP



© TVOmedia/こまねこフィルムパートナーズ

監督・脚本・原作・キャラクターデザイン：合田経郎

ものづくりが大好きなねこ、こまちゃん。このかわいいねこのキャラクターの活躍を全5話構成で描く、楽しいこま撮りアニメーション。

小劇場シネマ

小劇場でも映画上映を始めます！

陸軍登戸研究所〈完全版〉

2012年 | 日本 | カラー | スタンダード | 4h | SD(720*480)



※途中休憩あり

監督・編集・ナレーション：楠山忠之

原案：日本映画学校「人間研究」

聞き手：石原たま、渡辺路子、宮永和子、楠山忠之

※撮影機材の貸借あり | 撮影：黒川信也

【会場】小劇場(定員157名) | 自由席・整理番号順入場 | チケットはアートセンター窓口にて7/22(火より)販売

1時間長い〈完全版〉を12年ぶりに上映

川崎市生田の丘陵地に、1937(S12)年に造られた「登戸研究所」。陸軍科学研究所の中でも最大の資金が投入され、電波兵器や細菌兵器などを研究し、風船爆弾や偽造紙幣が実際に使用された。かつてこの施設に携わった関係者に7年の歳月をかけて取材した労作。

【日時】8/11(月・祝) 13:00開映 | 開場12:45

★舞台挨拶：楠山忠之監督、石原たまさん(スタッフ)

【料金】2,000円均一 ※シネマ会員ポイントつきます